

樟木館日和

しゅもくかんびより◆第二十号



発行日: 2019年9月30日

発行: 文化のみち樟木館

指定管理者: 特定非営利活動法人樟木俱楽部

木象嵌

【もくぞうがん】

象嵌(ぞうがん)は、工芸技法のひとつ。

象は「かたどる」、嵌は「はめる」という意味を持っている。本来象嵌とは、一つの素材に異質の素材を嵌め込むと言う意味で金象嵌、木象嵌等がある。シリアのダマスカスが発祥の地と言われ、シルクロード経由で飛鳥時代に日本に伝わったときされる。



樟木館の

洋館1階:喫茶室扉

樟木館の象嵌

ぞう
がん

NPO法人樟木俱楽部理事 伊藤喜雄

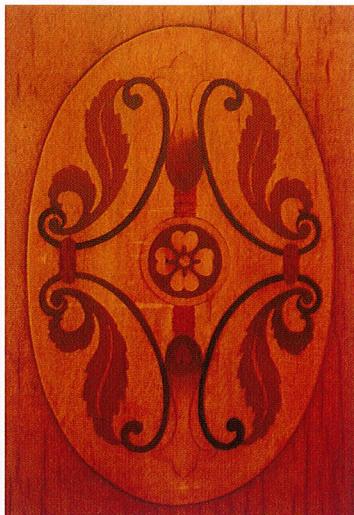
【象嵌とは】

象嵌とは、金属や木などに異なった金属（金象嵌）や木（木象嵌）を入れ文様や絵にした物である。漆器の螺鈿（らでん）や小田原の箱根細工などに象嵌技術が用いられている他、名古屋市東区の建中寺の柱の節の蝙蝠（こうもり）や宝珠などに埋木にも象嵌技術が施されている。

文化のみち樟木館においても、洋館1階の扉に、唐草や鳥をあしらった木象嵌を見つけることができる。



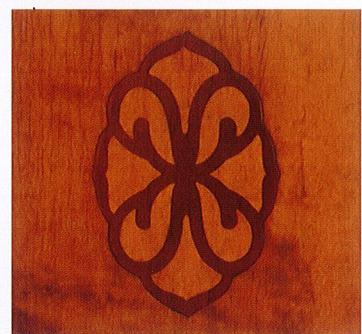
洋館1階：喫茶室扉（※表紙写真）



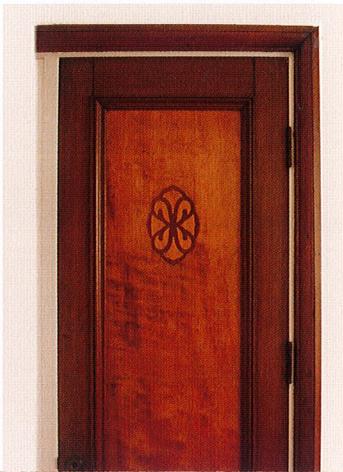
洋館1階：喫茶室扉



和館の木引手も木象嵌的と言えなくはない。客間（和室1）の一の間と二の間の襖（※注1）の引き手には青桐と鳳凰の金象嵌を施してある。
（※注1）通常は非公開



洋館2階：洋室扉



洋館二階の展示棚に使っている歌人春日井建の書棚は父の歌人春日井瀧（こうりゅう）も使った物で、没後、数々の資料とともに、名古屋市文化のみち二葉館（樟木館から東へ徒歩5分）を経て樟木館に寄贈。扉や引き出しの引手に、アールデコの意匠を意識した花や五七の桐などの木象嵌を施している。

春日井 建（かすがいけん） 1938年-2004年 昭和後期～平成時代の歌人。 愛知県江南市出身。 父・春日井瀧（こうりゅう）、母・政子もともに歌人。昭和35年発表の「未青年」50首は三島由紀夫の称赞を受けた。ロマン性のたかい歌風で知られ、平成12年「白雨ほかで逍遙（ちょうとう）賞」など受賞。平成16年5月22日没。



中段内部



中段内部：引き出し引手部分（五七の桐）



扉部（上段扉部にも施されている）

井元商店と

鶴舞動物園の「象」花子

鶴舞動物園と東山動植物園のインド象の花子購入に井元商店（※注1）が関わっていた。

東山動植物園の前身は、大須の私立「今泉動物園」の今泉氏から寄付を受けて大正7年（1918）に開園された「鶴舞公園付属動物園（名古屋市立鶴舞動物園）」になる。シンガポールの動物商川島某が井元商店の陶磁器を購入して露天販売をしていた事から、井元商店は、大正9年、川島事務所に陶磁器や日用雑貨などを扱う「南洋商行」を設立した。この川島某が大正10年に「インド象」を鶴舞動物園に売り込んだと言う。

南洋商行スマトラ島パレンバン市直輸入部の佐藤義一氏は猛獣狩りの名人で、鶴舞動物園の象を送った。同社社員の船橋徳一氏談『八十年史 井元紡業・陶業・産業（株）』。名古屋陶磁器会館理事長の井元啓太氏は『名古屋陶業の百年、昭和62年発行』に、元南洋商行支配人杉山鉢造氏の話として、象が昼間に歩くと迷惑なので檀木町三の井元商店本社の土蔵に入れ、夜間に鶴舞動物園に連れて行ったが歩きが遅く難儀したと記している。

名古屋港に上陸した象は堀川を使い夜間に井元商店に運び込まれたと思われるが詳細は不明。「花子」と名付けられた象は、鶴舞動物園で一番の人気で、鶴舞動物園が昭和12年（1937）東山動植物園に移転すると象の花子も移り同14年に死亡している。

（※注1）文化のみち櫛木館の建て主であり、陶磁器輸出商として活躍した井元為三郎が1917年に設立した合資会社。建物は、檀木町3丁目（現在の文化のみち二葉館の南側）にあった。

写真提供：東山動植物園
在の文化のみち二葉館の南側にあった。建物は、檀木町3丁目（現文化のみち二葉館の南側）にあった。写真提供：東山動植物園



伊勢型紙

名古屋まつり協賛

花鳥風月Ⅱ展

10/12(土)～10/27(日)



伊勢型紙は千年の歴史を持つといわれる伝統工芸で、三重県鈴鹿地方を中心に行发展してきました。着物などの型染めとして使われ、細かな手仕事が生む格調高い文様が魅力です。

今年のテーマは「伊勢型紙×花鳥風月Ⅱ」として、伝統的な伊勢型紙により自然の美しい風物を創作。また伝統ある伊勢型紙の文化を紹介し実際に体験していただけます。紙芝居「源氏物語」やワークショップを開催いたします。

10/19(土)

10/16・17(木・金)

影絵紙芝居

■午後1時30分～午後3時

※詳細は裏面「文化のみち櫛木館」
催し物欄10月～3月をご覧ください。



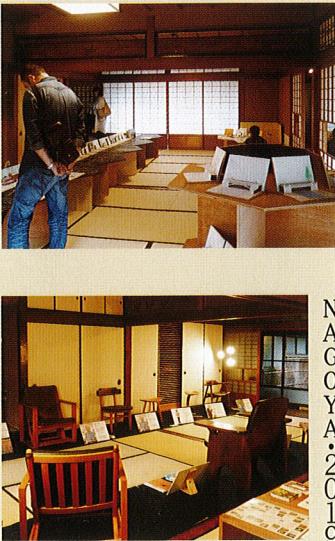
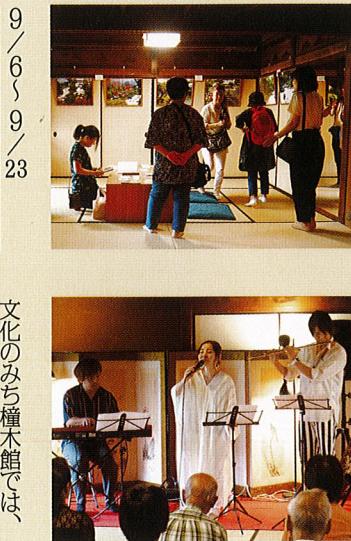
令和元年度 催し物暦（4月～9月）

4/19～5/6

なごや折り紙建築展

5/31～6/2

木工家ウイーク
NAGOYA・2019



9/6～9/23
名古屋友禅展 ミュシャと私
Yumikoの世界

文化のみち櫛木館では、
館主催イベントをはじめ、
貸室利用による
イベントを年間通して
おこなっています。
当館では和室・洋室・茶室・
蔵・庭をお貸しします。
詳しくは下記の電話番号、
ファックス番号へ
お問い合わせいただぐか
ホームページをご覧ください。